

自分たちのまちは、自分たちでつくろう!

地域ぶんけんくれは

くれは地域コミュニティ推進協議会

平成27年
3月号

* No. 7 *



(くれはちゃん)

呉服小学校区エリア 室町 桃園 姫室 呉服北 呉服南 満寿美 宇保八王寺 アルビス池田

今年もくれはコミ協の役員をはじめ 全員で力を合わせて頑張ります。



荒木 会長



成田 副会長



和田 副会長



中岡 副会長



西中 副会長



西田 副会長



林 相談役



川原 書記



小村 書記



安田 会計



上田 監事



田中 監事

くれは地域コミュニティ推進協議会の役員 (略：くれはコミ協)

会長 荒木 那彦
副会長 成田 淳一
副会長 和田 年弘
副会長 中岡 嘉弘
副会長 西中 義弘

副会長 西田 啓輔
相談役 林 克彦
書記 川原 昭宣
書記 小村 絹恵
会計 安田 禮子

監事 上田 澁
監事 田中 範子
*青パト隊長
今井 徹

総務部 部会長 中岡 嘉弘 副部会長 上田 澁・小村 絹恵
福祉部 部会長 小澤 淳子 副部会長 東山 正子・大西喜久子
教育文化部 部会長 中野 正人 副部会長 笠井 賢治・伊勢 睦子
環境防犯部 部会長 青井 秀浩 副部会長 西本 秀一・酒井 聡子

26年度(平成26年4月～27年3月)の実施予定事業

- * くれはコミ協の「掲示板」の設置
- * 桃園公園整備事業
- * 水路安全柵整備事業
- * 道路安全対策事業
- * 街路灯強化事業
- * 呉服小学校吹奏楽の楽器購入支援
- * 地域コミュニティ広報誌の発行配布
- * 呉服会館内の推進協議会拠点の管理運営事業
- * 総合防災訓練事業
- * 青パト隊パトロール活動事業支援
- * 「くれはまつり」の共催事業
- * 呉服小学校花いっぱい運動への支援
- * 交通安全啓発事業
- * MTPフェスティバル事業の支援
- * 市民レクリエーション開催の支援



「呉小吹奏楽クラブ」への楽器購入支援



呉服会館

総合防災訓練事業の実施



青パト隊パトロール活動事業支援

「くれはまつり」の共催事業



27年度(平成27年4月～28年3月)の実施予定事業

- 地域コミュニティ広報誌の発行配布
- MTPフェスティバル事業の支援
- 暗渠の整備事業
- 呉服小学校吹奏楽の楽器購入支援
- 市民レクリエーション開催の支援
- 青パト隊パトロール活動事業支援
- グラウンドゴルフ大会の開催
- 花いっぱい運動への支援
- 総合防災訓練事業
- 「くれはまつり」の共催事業
- 子育て支援事業
- 拠点施設管理運営事業
- ウォークラリー
- カーブミラー設置
- 共同利用施設等備品購入

呉服校区の歴史よもやま話

「室 町」

室町21まちづくり委員会

委員 上田 浩

室町住宅は、阪急宝塚線の開通に先立ち、乗客誘致と土地販売を目的に宅地造成された。明治43年宝塚線開業の3日あと、池田車庫で電車の開業式と、建売分譲住宅の住宅フェアが、同時に開催された。建売住宅は、100坪単位に分割されており、1階20～30坪の2階建、5～6LDKの純和風建築と、庭の佇まいに果樹や菜園に余暇を楽しむ余地もあり、板塀に囲まれたモダンな4種類の建物を展開した、24戸のモデル住宅。標準価格は2000円台に設定し、大阪市内の賃貸住宅よりも利口な買い物であろうと、懐加減をゆさぶったのだろう。販売方法は、突飛な割賦方式を採用し、頭金に何がしか、その残金は10年の月割割賦にして、開発面積2万7千坪、200軒の宅地は、大正の初期には、だんだんとその家並みを整えていった。建売住宅に過ぎなかった室町風は、その後、家主の好みを加え、表玄関を杉板の一枚もの、脇に小門と瓦置きの塀、白い蔵が特徴の純和風が立ち並んだ。それに加え赤レンガの洋風建

築も新しい室町風を作り出していった。模範的な郊外住宅—池田新市街—池田室町住宅地。阪急電車創業者小林一三氏の企業家としての信念が宿っている。いま太閤と喧伝される所以であろう。斬新にして周到な企画。室町に続いて箕面櫻井・豊中に同様の宅地販売を展開し、電鉄本業を好転させていった。そのころ大阪市域を中心に大阪湾沿岸は日清戦争以来の急激な工業化が進み、人口増加、住環境の悪化を促していた新興産業の鉄道屋は電車線の敷設と郊外の田園都市開発に投資する。当時の足は膝栗毛、交通弱者は人力車か駕籠。移動手段に電車の迅速性を提供し、郊外から30分で大阪に結ぶ便利を宣伝文句に歌いあげ鉄道用地と同時に住宅地の買収を進めることで事業の担保とし、沿線各地に25万坪の職住分離型ベッドタウンの造成用地を保有した。事業としての企業家感覚住まいに夢を与えることに将来の事業展開が達成できることに着目し現在の阪急宝塚線が開業した。

呉服の摩訶不思議な底力！？

呉服小学校 校長 笠井 賢治

これまでも機会あるごとにお話ししてきたことですが、私の知る20年余りの間にも、呉小には、他校では見られない独特の教育文化が脈々と息づいてきました。まずは言わずと知れた吹奏楽部。小学校でこれほど本格的な吹奏楽編成の楽団を持つことも稀ですが、それを部活動として位置づけ、ほとんど毎日練習を重ねて全国レベルの水準を維持し続けています。とは言ってもそこは小学生。音楽に対する考え方・熱意・家庭環境は千差万別です。コンクール入賞を目指して連日過酷な練習の続く中、トラブルが起こらないわけがありません。私が部員たちの活動を評価するのは、次々に生じてくる様々なトラブルを乗り越える中で、次第に心をひとつに高め合い、しっかりと結果を出しているという点です。もちろん、顧問の教員やご家族の苦勞たるや、並大抵のことではありませんが、地域の人に愛されながら、部員たちは前進し続けます。先日のバンドフェスティバル全国大会で堂々の銀賞を獲得しながら、成績発表の直後は、誰一人笑顔を見せませんでした。こんな思いって、まさに呉小でしか味わえないことですよね。そんな吹奏楽部の取り組み姿勢に引っ張られるせいか、呉服の音楽学習の水準は突出しています。時代とともに児童が替わり、保護者も替わり、教員も替わっていつているのに、このレベ

ルの高さに変化はありません。一口に「伝統の力」などと言いますが、それっていったい何物なのでしょうね。「くれはまつり」や「もちつき」に代表される、保護者や地域の皆さんの呉服っ子たちに対する思い入れは、半端じゃありません。このような行事そのものは多くの学校でも取り組まれています。運動場の端に、遊園地にある「ふわふわゴリラ」と呼ばれる超大型遊具が設置され、一日中子どもたちの歓声と笑顔とがあふれかえる小学校を私は見たことがありません。(おまけにその横のステージで校長がエレキギターを演奏するなんて学校も、まず有りえないでしょう。)外部の講師さんをお招きしての「出前授業」も昨今流行していますが、呉小のそれは、質量ともに他校をはるかにしのぎます。国土交通省のお役人から駅前のラーメン店のスタッフさんに至るまでありとあらゆる専門家をお呼びして、いろいろな角度から体験的にプロの視点を学びます。昔から、それなりに「やんちゃ」も多かった呉服っ子。それと向き合い続ける教員と、支え続ける保護者と地域とに見守られ、いつのまにか素敵な社会人に育って、またこの街に戻ってきます。摩訶不思議な呉服の底力です。

◇学校だより(12月号)「広報くれは」より転載させていただきました。

平成27年3月現在

区分	総務部会	福祉部会	教育文化部会	環境・防犯部会
室町 11人	上田 浩	山脇 裕彦	乾 禎則	今井 徹
	近谷 孝	深井 倫子	田村 順造	阿部 雅一
			森 太郎	相川 慎一
			大谷 敬亨	
桃園 4人	成田 淳一		小栢 弘	岸 徳治
				岩中 雅子
姫室 9人	和田 年弘	小澤 淳子	笠井 賢治	瀬島 康友
		東山 正子	廣居 時夫	干川 孝男
			木村 和資	
			伊勢 睦子	
呉服北 3人	中岡 嘉弘		川原 昭宣	向井 和子
呉服南 11人	安田 禮子	大西 喜久子	田中 悦子	岡 平
	佐々木 喜美	大隈 郁子	中西 良子	石川 代志美
		平長 史子		西富 征子
		仲路間 美貴		
満寿美 12人	須浦 克夫	西中 義弘	酒井 昭三	酒井 総子
		鷹野 元子	広芝 佐代子	西本 秀一
			竹内 安子	柴田 愛子
			細見 清	片山 正義
			原田 孝治	
宇保・八王寺 11人	小村 絹恵	鈴木 睦子	中野 正人	西田 啓輔
	富田 裕樹	尾田 悦子	今田 洋	青井 秀浩
		松本 千賀子	中野 春樹	岡田 芳浩
アルビス池田 2人			田中 範子	甲斐 勝美
地域外 1人				川本 順正
計 64人	10人	13人	21人	20人

部会長

副部会長

